科目名			担当教員	
社会保障論Ⅰ			阿部　裕二	
科目コード	単位数	スクーリング単位	履修方法	配当年次
CD4088	2	1	RorSR（講義）	3年以上
生成AI利用レベル		レポート　：　C	試験（スクーリング含む）　：　C	

科目の概要

■科目の内容

日本の社会保障制度は、進展している少子高齢化のなかで構造的な転換期を迎えており、「社会保障革命」というべき各種の見直しが行われてきました。近年においても年金制度や医療（保険）制度などが改革の道を歩んでいます。まさに新しい生活保障システムが求められている時代ともいえます。とはいえ、「構造的な転換期」だからこそ原点に立ち返り、「社会保障とは何か」の古典的な議論も必要であると思われます。

そこで、社会保障論Ⅰでは、少子高齢化や労働環境等の変化を踏まえつつ、社会保障の枠組み（概念と対象）と民間保険との関係性の理解に努めます。また、社会保障を支える理念と財政の内容とそれぞれが抱える課題についても考察します。そして、社会保障の歴史をみる中で、現代社会における社会保障制度の役割と取り組む課題について把握します。

【教員等の実務経験による指導内容】

社会保障に関する各種公開講座の講師や年金委員の経験をいかし、実例をあげながら講義を進めていきます。

■到達目標

1）生活の変容を説明できる。
2）社会保障制度の枠組みと現代社会において取り組むべき課題を説明できる。
3）社会保障制度の理念や財政の内容と問題点を説明できる。
4）民間保険の重要性と公的保険制度の関係性を説明できる。

■学位授与の方針（ディプロマポリシー）との関連

とくに「俯瞰的な分析力」「開発・創造力」を身につけてほしい。

■科目評価基準

レポート評価50%＋スクーリング評価 or 科目修了試験50%

■教科書・参考図書

【教科書】（「社会保障論Ⅱ」と共通）

福祉臨床シリーズ編集委員会編『新・社会福祉士シリーズ12 社会保障（第2版）』弘文堂、2025年

（最近の教科書変更時期）2025年4月

（スクーリング時の教科書）上記教科書を参考程度に使用し、配付する資料を中心にして講義を行います。

【参考図書】

1）阿部裕二監修『すぐに役立つ！ケアマネ、生活相談員、生活支援員のための社会保障制度がわかる本』ナツメ社、2021 年

2）椋野美智子・田中耕太郎『はじめての社会保障（最新版）』有斐閣アルマ

スクーリング

■スクーリングで学んでほしいこと

本講義のテーマは「社会保障の考え方と仕組みを理解し、自分なりの『社会保障観』を構築しよう」です。日本の社会保障は、少子・高齢化をはじめとするさまざまな環境の変化のなかで、構造的転換期を迎えています。その際、「私たちの生き方（価値観の転換）」も同時に問われています。そこで、講義ではこのような問題意識の下、社会保障の考え方や成立過程を考察しつつ、日本の社会保障の枠組みと役割等について考えてみたいと思います。

■講義内容

回数	テーマ	内容
1	私たちの生活の変容	少子高齢化、人口減少などの人口動態、家族形態、経済、労働環境等について学びます。
2	社会保障の枠組みと範囲	定義と範囲および役割について、歴的背景を含めて学びます。
3	社会保障を支える理念	ナショナル・ミニマム、オプティマム、普遍主義と選別主義、ノーマライゼーションなどについて
4	社会保障制度の展開過程	イギリスを中心とした欧米の歴史、日本の歴史について、それぞれ学びます。
5	社会保険と社会扶助	社会保障の中核にある社会保険と社会扶助の内容と関係性および機能について学びます。
6	社会保障と財政	国と地方、社会保障給付費と社会支出の関係、国民負担率、経済と社会保障の相互作用等について
7	公的保険制度と民間保険制度	自助の一つの形態としての民間保険の仕組みと社会保険との関係などについて学びます。
8	現代社会における社会保障制度の役割と取り組むべき課題	社会保障・税一体改革、一億総活躍社会などについて整理しつつ、自らの社会保障観について考えます（まとめ）。
9	スクーリング試験	

※オンデマンド・スクーリングでは、上記の講義内容と異なる場合があります。

■講義の進め方

スクーリング時には、作成した『理解しやすい社会保障論Ⅰ講義資料集』を配付して、この資料集を中心にして講義を行います。教科書は参考程度に使用します。

■スクーリング評価基準

スクーリング試験のみ（100%）（持込不可）で評価します（稀ですが受講態度を加味する場合もあります）。試験では 2 題を選択して解答（記述式）していただきます。なお、試験では単なる知識の確認ではなく、スクーリングで

学んだ内容を踏まえた上で、試験テーマに沿って皆さん自身の見解をどれだけ論述できるかについて問います。詳しくはスクーリング時に示します。

■スクーリング事前学習（学習時間の目安：5～10 時間）

「スクーリング講義内容」（8 項目）の項目に該当する部分を教科書に沿ってある程度読んで出席してください。つまり、少ない講義回数のなかで、少しでも内容の理解を深めるためには、予習・事前学習が欠かせません。もちろん、すべて完璧に覚えてきてくださいというわけではありません。受講した際に、「なんかその言葉は聞いたこと、見たことがあるぞ。なるほど、あそこに書いてあったことは、そういうことだったのか」という程度で結構です。

私としては、ある程度、予習・事前学習をされてきたことを前提として講義を進めたいと考えています。万一、事前学習なし（準備不足）の場合は、苦痛でしかも怒濤のように時間だけが過ぎ去ってしまうかもしれません。皆さんにとって、有意義な時間が共有できるように努めますし、同時に祈念しております。

レポート学習

■在宅学習 15 のポイント

回数	テーマ	学習内容・キーワード	学びのポイント
1	社会の変容 （第１章）	社会保障を学ぶ前に、社会保障を取り巻く私たちの生活環境の変化を理解する。 キーワード：少子高齢化、家族形態、就業構造、経済、ワークライフバランスなど	少子高齢化、人口減少、家族形態の変化、就業構造（形態）の多様化など、私の生活環境は変化し続けています。これらの生活環境の変化を理解し、これらから学ぶ社会保障の前提を把握しましょう。
2	社会保障の概念と範囲及び対象者 （第２章）	社会保障はどのようにとらえるのか。社会保障の概念と範囲、対象者を確認する。 キーワード：歴史的形成体、アメリカ社会保障法、ベヴァリッジ報告など	歴史的形成体である社会保障をどのように理解するのか、また範囲には何が含まれるのか、そしてそれは各国で異なるのかなどを学びます。
3	社会保障の役割と意義 （第２章）	現代社会における社会保障の役割と意義について理解する。 キーワード：生活安定・向上機能、所得再分配機能、経済安定機能など	現在の社会保障には、国民の生涯にわたって健やかで安心できる生活を保障する役割があるが、そのために社会保障はどのように機能するのかについて学びます。
4	社会保障の理念 （第2章）	社会保障を支える理念にはどのようなものがあるのかについて考えてみましょう。 キーワード：ミニマムとオプティマム、普遍主義と選別主義、ノーマライゼーションなど	社会保障の理念を単に整理するのではなく、それらの理念に問題点はないかという視点でまとめることが重要です。
5	社会保障制度の展開（欧米） （第２章）	イギリスを中心とした欧米の社会保障の歴史を理解する。 キーワード：救貧法、社会調査、失業法など	貧困観の変遷及び社会保険と公的扶助の統合の視点から、イギリスを中心とした欧米の社会保障の歴史（特徴）について学びましょう。

6	社会保障制度の展開（日本） （第２章）	日本の社会保障の歴史を理解する。 キーワード：恤救規則、GHQ、国民皆保険・皆年金など	イギリスを中心とした欧米の歴史と同様の視点から、日本の社会保障の展開過程について学びます。
7	社会保障の財源 （第３章）	社会保障における給付と負担の関係について理解する。 キーワード：一般会計、地方経費、保険料、租税など	社会保障における財源を国と地方の側面から学びます。また、財源構成の内容特徴についても理解深めます。
8	社会保障給付費の動向と特徴 （第３章）	社会支出と社会保障給付費の相違を把握しつつ、現状を把握する。 キーワード：社会支出、社会保障給付費など	OECD 基準の社会支出と ILO 基準の社会保障給付費から日本の特徴と今後の見通しを学びます。
9	国民負担率と社会保障と経済の関係性 （第３章）	国民負担率の定義と日本の現状および国際比較について理解する。 キーワード：国民負担率、潜在的国民負担率など	国民負担率や潜在的国民負担率の意味を理解するとともに、日本の現状と国際的な位置づけを学びます。
10	社会保険と社会扶助の成立要件 （第４章）	保険や社会保険の成立要件や社会保険の理論と実際について理解します。 キーワード：大数の法則、給付反対給与均等の原則、強制加入など	社会保険といえども保険の一つであるため、まず、保険の成立要件を把握したうえで、社会保険の成立要件を学びます。そして、仕組み上の社会保険の理論と実際について学びます。
11	社会保険と社会扶助の特徴と関係性 （第４章）	社会保険の特徴と社会扶助の仕組みとその関係性について理解します。 キーワード：社会保険方式、社会扶助方式など	社会保険と社会扶助を比較しながらそれぞれの特徴を明確にし、両者の関係性についてまとめます。
12	社会保険と社会扶助の範囲 （第５章）	社会保障の中核にある社会保険と社会扶助の範囲について理解する。 キーワード：制度別体系、選別的給付と普遍的給付、機能別・給付形態別	制度別体系、僭越的給付と普遍的給付体系、機能悦・給付形態別体系の側面から社会保険と社会扶助の範囲について学びます。
13	民間保険の仕組みと社会保険との関係 （第５章）	民間保険の仕組みと公的（社会）保険との関係性について理解する。 キーワード：保険の原則、第一分野、第二分野、第三分野など	民間保険の仕組みや成立するための原則、そして民間保険を分類するとともに、社会保険とどのような関係性にあるのかについて学びます。
14	企業年金等の役割と機能 （第５章）	企業年金の枠組みと概要について理解する。 キーワード：確定給付企業年金、確定拠出年金（企業型・個人型）	企業年金の役割を理解したうえで、企業年金の種類を学びます。また、近年拡大傾向にある確定拠出年金（個人型：iDeCo）の内容と現状についても学びます。
15	社会保障とは何か （全体）	社会保障の理解について整理します。 キーワード：社会保障・税一体改革、一億総活躍社会など	第１章から第５章までの内容から、社会保障をどのように理解したのかを整理します。

■レポート課題

1 単位め	「TFU オンデマンド」上で客観式レポートに解答してください。
2 単位め	私たちの生活環境の変化を踏まえながら、社会保障をどのように理解したらよいか。そして、現代社会において社会保障（制度）が果たしている役割について述べなさい。

※提出されたレポートは添削指導を行い返却します。

■アドバイス

【1 単位めアドバイス】

教科書をよく読み、「TFU オンデマンド」上で客観式レポートに解答してください。

【2 単位めアドバイス】

私たちは、あまり意識せず「社会保障」という言葉を使っていますが、改めて社会保障とは何かを考えてみましょう。今日の私たちの生活（社会保障を取り巻く環境）は、少子・高齢化、逼迫する財政問題などを背景にして荒波の中にありますが、まずこのような環境の変化の中で、社会保障がどのように定義づけられるのかを整理してみてください。その上で、社会保障（個別制度ではなく、総体として）が現代社会の中でどのような役割（機能）を果たしているか、をまとめてください。

科目修了試験

■評価基準

1）題意を正確に把握し、指示に従って述べられているか。
2）単に暗記したものを記述するのではなく、自分なりの視点からまとめられているか。
3）抽象的な表現にとどまらず、現実との関連づけの視点からもまとめられているか。
4）結論は感想にとどまらず、根拠をもって述べられているか。